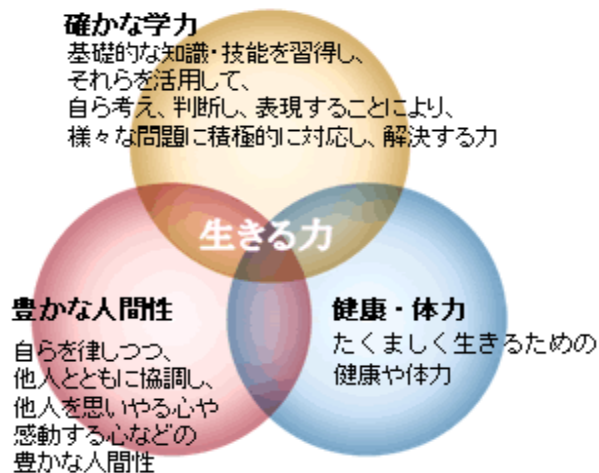


# IV. 通学合宿の効果

## 1 生きる力・情動知能とは

### (1) 生きる力



「生きる力」＝知・徳・体のバランスのとれた力

変化の激しいこれからの社会を生きるために、確かな学力、豊かな心、健やかな体の知・徳・体をバランスよく育てることが大切であるとされている。

(出展) 文部科学省 HP

### ☆IKR 評定用紙(簡易版)

体験活動による教育的な効果を測る手法の一つとして、子どもの生きる力を手軽に測定できるように国立青少年教育振興機構に開発されたソフト。(国立青少年教育振興機構)

(出展) 独立行政法人国立青少年教育振興機構



### (2) 情動知能

Salovey & Mayer (1990) の定義により、自分の情動を知り衝動の自制ができる能力、自分の気持ちを自覚・尊重して納得のいく決断ができる能力、挫折したときでも絶望せずやる気を起こさせる能力、他者に共感を覚える能力、集団の中で調和を保ち協力しあえる対人関係能力などから成るとされ、心の知能指数とも呼ばれている。

(児童用情動知能尺度の開発とその信頼性・妥当性の検討 2010 皆川)

### ☆EQSC (児童用情動知能尺度)

EQSC (児童用情動知能尺度) とは、情動知能指数を評価するために標準化の手続きを経て一般に市販された心理検査である情動知能尺度 (EQS) (13) を、皆川らが小学生の生活場面に照らして吟味・改訂して作成し、信頼性および妥当性をもつ尺度として立証したものである。この EQSC は、「自己対応」、「対人対応」、「状況対応」の 3 領域 12 下位因子から成り、各下位因子は、3 つの質問項目によって構成されており、合計 38 項目から成っている

### ○統計処理について

- ・生きる力については「IKR 評定用紙 (簡易版)」を使用し、調査及び統計処理を行った。
- ・情動知能については「EQSC (児童版情動知能尺度)」を使用し、統計処理については「JS-STAR 2012」を使用した。

## 2 第1回「テンちゃん一家の一週間」(鵜飼小学校)

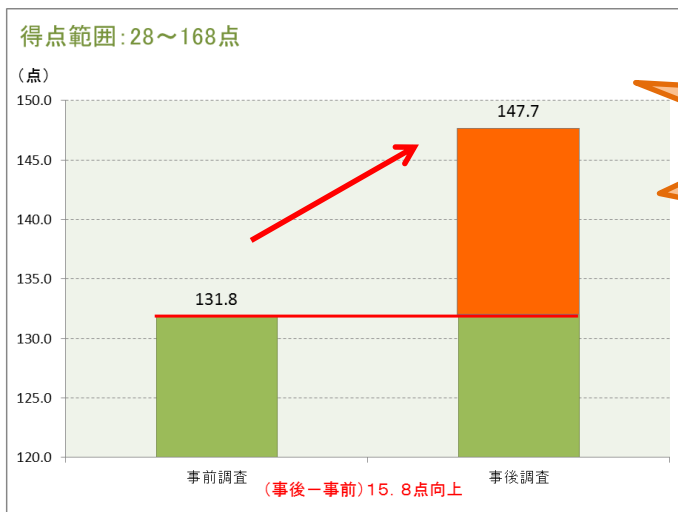
平成24年11月11日(日)～17日(土)

### 生きる力<sup>(1)</sup>の向上

平成24年度参加した児童43名を対象として「IKR評定用紙(簡易版)<sup>(2)</sup>」を用いて、生きる力の測定・分析を行った。合宿初日と最終日にアンケート調査を実施し、分析ツールを使用して分析を行った結果以下の効果が明らかになった。

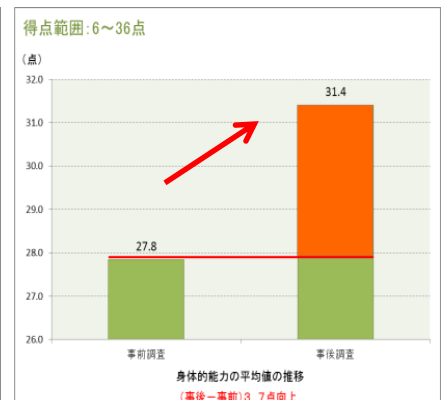
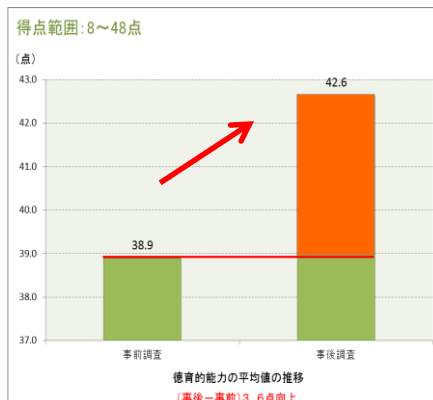
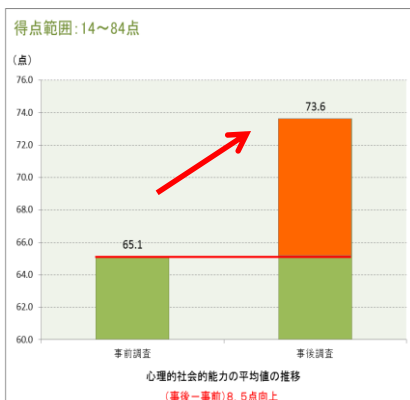
事前から事後にかけて「生きる力」の得点が上がることが分かった。また、「心理社会的能力」「徳育的能力」「身体的能力」の3つの能力及び、それらを構成する能力のすべてに向上が見られた。

#### ▶生きる力の変容



各質問項目の回答に対して「とてもよくあてはまる」を6点、「まったくあてはまらない」を1点として1点刻みで得点化し、各調査時期における平均・標準偏差を算出した。

#### ▶3つの上位能力の変容



▶各調査期における各項目の変容

能力	No.	調査項目	事前調査	事後調査	有意差
			平均	平均	
<b>生きる力</b>			<b>131.8</b>	<b>147.7</b>	<b>*</b>
<b>心理的社会的能力</b>			<b>65.1</b>	<b>73.6</b>	<b>*</b>
非依存	1	いやなことは、いやとはっきり言える	5.0	5.6	*
	15	小さな失敗をおそれない	4.9	5.3	*
積極性	11	自分からすすんで何でもやる	4.7	5.3	*
	25	前向きに、物事を考えられる	4.7	5.3	*
明朗性	5	だれにでも話しかけることができる	4.9	5.5	*
	19	失敗しても、立ち直るのがはやい	4.9	5.3	*
交友・協調	7	多くの人に好かれている	3.3	3.7	*
	21	だれとでも仲よくできる	5.1	5.7	*
現実肯定	9	自分のことが大好きである	3.9	4.7	*
	23	だれにでも、あいさつができる	4.9	5.7	*
視野・判断	3	先を見通して、自分で計画が立てられる	4.6	5.2	*
	17	自分で問題点や課題を見つけることができる	4.5	5.2	*
適応行動	8	人の話しをきちんと聞くことができる	5.1	5.7	*
	22	その場にふさわしい行動ができる	4.7	5.4	*
<b>徳育的能力</b>			<b>38.9</b>	<b>42.6</b>	<b>*</b>
自己規制	14	自分かってな、わがままを言わない	4.7	5.1	*
	28	お金やモノのむだ使いをしない	5.0	5.3	*
自然への関心	6	花や風景などの美しいものに、感動できる	4.3	5.1	*
	20	季節の変化を感じるができる	5.3	5.6	*
まじめ・勤勉	12	いやがらずに、よく働く	4.4	5.0	*
	26	自分に割り当てられた仕事は、しっかりとやる	5.4	5.6	*
思いやり	2	人のために何かをしてあげるのが好きだ	5.3	5.6	*
	16	人の心の痛みがわかる	4.6	5.4	*
<b>身体的能力</b>			<b>27.8</b>	<b>31.4</b>	<b>*</b>
日常的行動力	13	早寝早起きである	4.4	5.4	*
	27	からだを動かしても、疲れにくい	4.8	5.2	*
身体的耐性	4	暑さや寒さに、まけない	4.7	5.5	*
	18	とても痛いケガをしても、がまんできる	5.0	5.1	*
野外技能・生活	10	ナイフ・包丁などの刃物を、上手に使える	4.7	5.2	*
	24	洗濯機がなくても、手で洗濯できる	4.2	5.0	*

\*=統計的検定を行い、平均値の向上が認められたもの

※小数点以下の四捨五入により、合計が実際の数値とは異なる場合があります

## 参加者&保護者の声



お父さんやお母さんと離れて暮らすのはさびしいけれど、自分ができるようになったり、友達がふえたりするということがあってとても楽しかった。(参加児童)

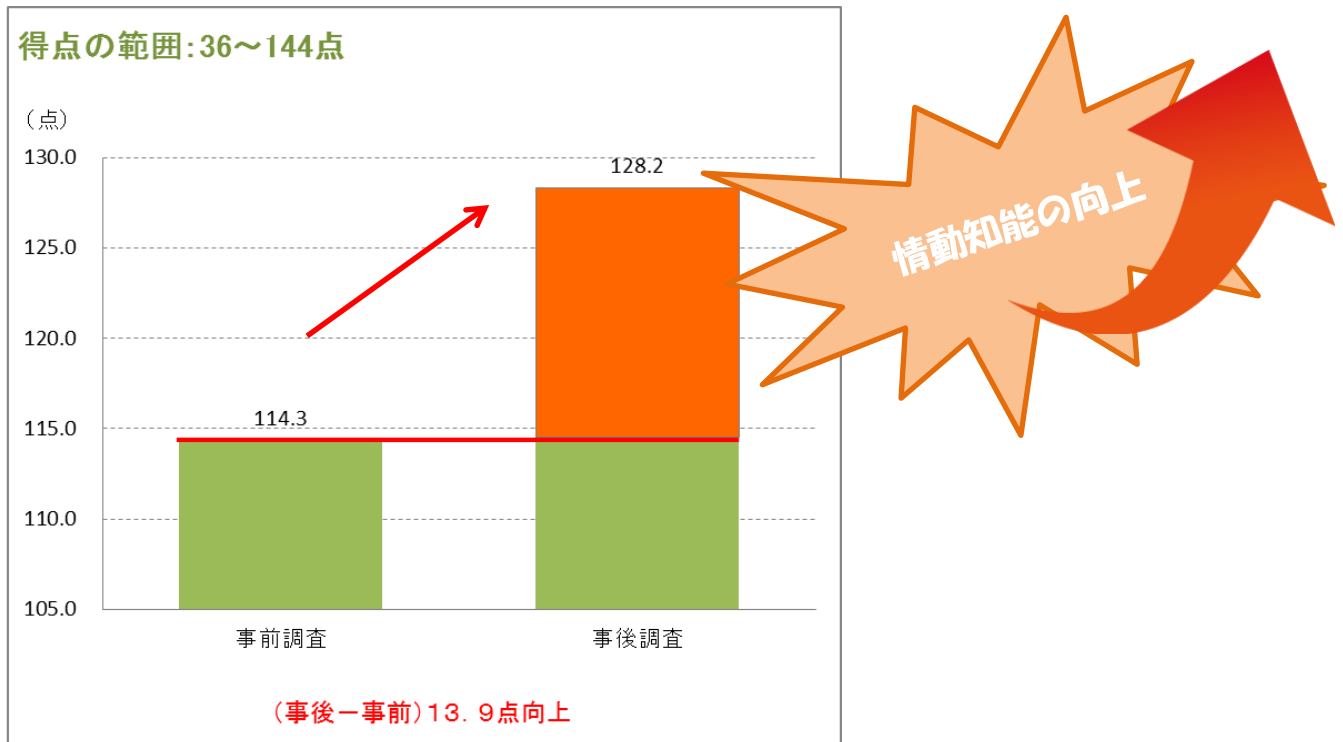
テレビ、ゲーム、マンガのない貴重な一週間を過ごさせていただいた。一週間ずっとお友達と過ごしたことにより、より友好的になったと思う。(保護者)

### 情動知能<sup>(3)</sup>の向上

平成24年度参加した児童43名を対象として「EQSC(児童用情動知能尺度)<sup>(4)</sup>」を用いて、生きる力の測定・分析を行った。合宿初日と最終日にアンケート調査を実施し、分析ツールを使用して分析を行った結果以下の効果が明らかになった。

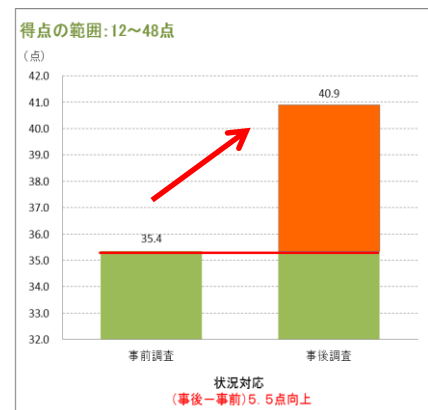
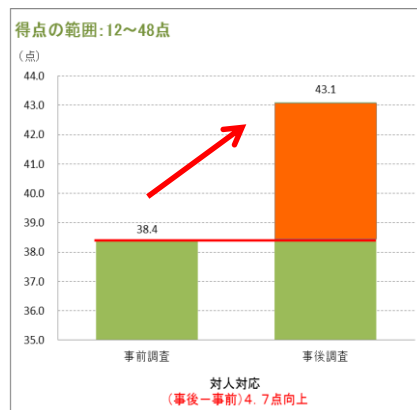
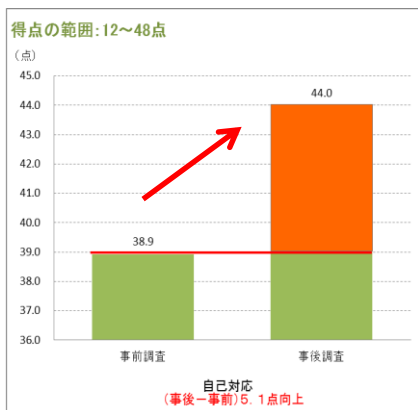
事前から事後にかけて「情動知能」の得点が上がることが分かった。また、「自己対応能力」「対人対応能力」「状況対応能力」の3つの能力及び、それらを構成する能力のすべてに向上が見られた。

#### ▶情動知能の変容



各質問項目の回答に対して「とてもよくあてはまる」を4点、「まったくあてはまらない」を1点として1点刻みで得点化し、各調査時期における平均・標準偏差を算出した。

#### ▶3つの上位能力の変容



▶各調査期における各項目の変容

能力	No.	調査項目	事前調査	事後調査	有意差	
			平均	平均		
情動知能			111.9	127.8	*	
自己対応能力			38.2	43.9	*	
自己対応能力	自己洞察	1	自分が思っていることや感じていることがいつでもわかる	8.4	10.5	*
		2	自分の気持ちが、変化するのわかる			
		3	今の自分の気持ちを言葉で表すことができる			
	自己動機づけ	4	自分でやろうと思ってやり始めたことは、続けていきたい	10.0	11.3	*
		5	一度やり始めたことは、最後までやり通したい			
		6	すぐにできなくても、大切なことは、やり続けるようにしている			
	目標追求	7	自分でやると決めたことは、やりとげようとしている	10.1	11.1	*
		8	やると決めたことを、すぐにやめてしまうのはよくないことだと思う			
		9	目標のためならば、どんなに大変でも、やりぬく気持ちでいる			
	自制心	10	自分の気持ちだけでなく、場面を考えて行動している	9.7	11.0	*
		11	休み時間と授業時間との気持ちの切りかえができる			
		12	いやなことがあっても、友達にやつあたりしない			
対人対応能力			38.4	43.1	*	
対人対応能力	共感性	13	友達が喜ぶことをしてあげたくなる	10.1	11.0	*
		14	どうすれば友達に喜んでもらえるかを考えたい			
		15	困っている友達がいたら、どうしたのか聞いてあげたいと思う			
	愛他心	16	友達が元気がないときには、はげましてあげたいと思う	10.0	11.1	*
		17	友達が嫌がることは言わない			
		18	困っている人を見ると、何とかしてあげたいと思う			
協力	19	だれにでも、進んで手を貸してあげられる	9.1	10.3	*	
	20	みんなのためなら、いやなことでもやろうと思う				
	21	同じ友達とだけではなく、いろいろな友達と遊んでいる				
人材活用力	22	友達に手伝いをたのむことができる	9.2	10.8	*	
	23	けんかを止めたり、仲直りをさせたりしたことがある				
	24	初めて会った人も、すぐに友達になる				
状況対応能力			35.4	40.9	*	
状況対応能力	気配り	25	その場のふんいきをこわさないように気をつけている	9.5	10.6	*
		26	みんなで何かを決めるとき、みんなの意見をきちんと聞いて決めている			
		27	朝の会、帰りの会などの司会をテキパキとやることができる			
楽天主義	28	何かを始めるときには、うまくいこうと思う	9.6	10.7	*	
	29	失敗することを考えるより、まずやってみようと思う				
	30	今日うまくいかないことも、明日になればうまくいきそうだと思う				
リーダーシップ	31	リーダーとして、みんなをまとめていくことが得意である	7.2	8.8	*	
	32	自分が見つけた良い方法を、みんなにすすめることができる				
	33	みんなと相談するときには、まとめ役をすることが多い				
状況コントロール	34	班がえがあっても、すぐに班の人たちと仲良くできる	9.1	10.8	*	
	35	何か困ったことが起こっても、どうしたらよいのか考えられる				
	36	その場面に合わせて、行動することができる				

\*=統計的検定を行い、平均値の向上が認められたもの

※小数点以下の四捨五入により、合計が実際の数値とは異なる場合があります

## 参加者 & 保護者の声



この一週間で、友達とのきずなが深まった。友達にいつもとはちがう面があったのもびっくりしたし、家にいる時より楽しく過ごせた。食事のマナーや部屋の整理整頓の大切さなど、色々なことを知ることができた。(参加児童)

一週間の集団生活で、自分だけではない他への優しさや協力する気持ちがより強くなったと思う。たくさんの活動をとおして子どもに色々な体験をさせていただいたようで、笑顔で帰って来た。(保護者)

### 3 第2回「テンちゃん一家の一週間」(鵜飼小学校)

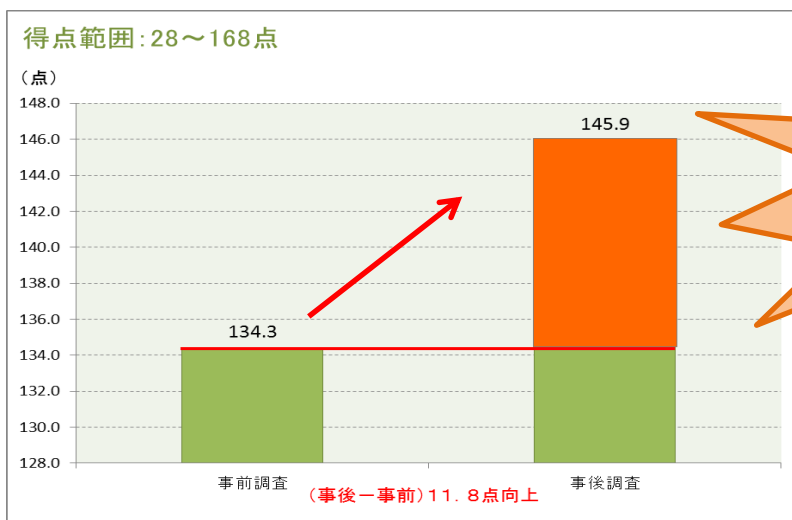
平成25年10月27日(日)～11月2日(土)

#### 生きる力の向上

平成25年度参加した児童43名を対象として「IKR評定用紙(簡易版)」を用いて、生きる力の測定・分析を行った。合宿初日と最終日にアンケート調査を実施し、分析ツールを使用して分析を行った結果以下の効果が明らかになった。

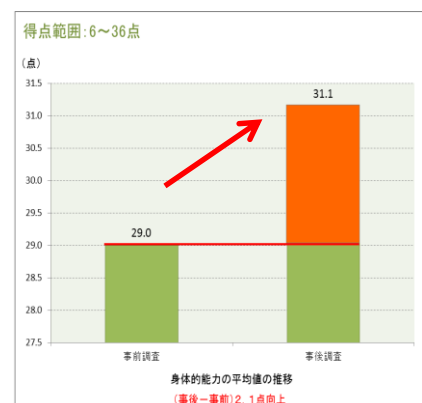
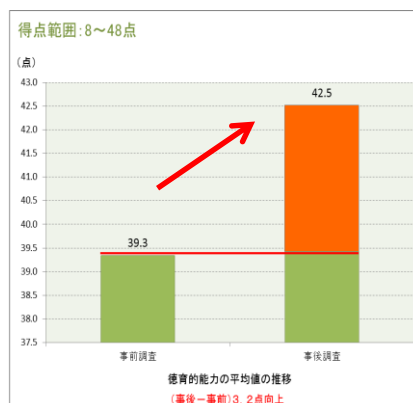
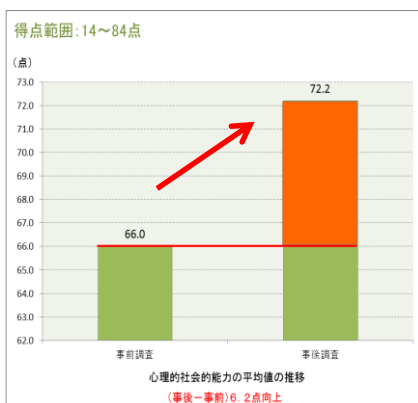
事前から事後にかけて「生きる力」の得点が上がることが分かった。また、「心理社会的能力」「徳育的能力」「身体的能力」の3つの能力及び、それらを構成する能力のすべてに向上が見られた。

#### ▶生きる力の変容



各質問項目の回答に対して「とてもよくあてはまる」を6点、「まったくあてはまらない」を1点として1点刻みで得点化し、各調査時期における平均・標準偏差を算出した。

#### ▶3つの上位能力の変容





▶各調査期における各項目の変容

能力	No.	調査項目	事前調査	事後調査	有意差
			平均	平均	
<b>生きる力</b>			<b>131.8</b>	<b>147.7</b>	<b>*</b>
<b>心理的社会的能力</b>			<b>65.1</b>	<b>73.6</b>	<b>*</b>
非依存	1	いやなことは、いやとはっきり言える	5.0	5.6	*
	15	小さな失敗をおそれない	4.9	5.3	*
積極性	11	自分からすすんで何でもやる	4.7	5.3	*
	25	前向きに、物事を考えられる	4.7	5.3	*
明朗性	5	だれにでも話しかけることができる	4.9	5.5	*
	19	失敗しても、立ち直るのがはやい	4.9	5.3	*
交友・協調	7	多くの人に好かれている	3.3	3.7	*
	21	だれとでも仲よくできる	5.1	5.7	*
現実肯定	9	自分のことが大好きである	3.9	4.7	*
	23	だれにでも、あいさつができる	4.9	5.7	*
視野・判断	3	先を見通して、自分で計画が立てられる	4.6	5.2	*
	17	自分で問題点や課題を見つけることができる	4.5	5.2	*
適応行動	8	人の話しをきちんと聞くことができる	5.1	5.7	*
	22	その場にふさわしい行動ができる	4.7	5.4	*
<b>徳育的能力</b>			<b>38.9</b>	<b>42.6</b>	<b>*</b>
自己規制	14	自分かってな、わがままを言わない	4.7	5.1	*
	28	お金やモノのむだ使いをしない	5.0	5.3	*
自然への関心	6	花や風景などの美しいものに、感動できる	4.3	5.1	*
	20	季節の変化を感じるができる	5.3	5.6	*
まじめ・勤勉	12	いやがらずに、よく働く	4.4	5.0	*
	26	自分に割り当てられた仕事は、しっかりとやる	5.4	5.6	*
思いやり	2	人のために何かをしてあげるのが好きだ	5.3	5.6	*
	16	人の心の痛みがわかる	4.6	5.4	*
<b>身体的能力</b>			<b>27.8</b>	<b>31.4</b>	<b>*</b>
日常的行動力	13	早寝早起きである	4.4	5.4	*
	27	からだを動かしても、疲れにくい	4.8	5.2	*
身体的耐性	4	暑さや寒さに、まけない	4.7	5.5	*
	18	とても痛いケガをしても、がまんできる	5.0	5.1	*
野外技能・生活	10	ナイフ・包丁などの刃物を、上手に使える	4.7	5.2	*
	24	洗濯機がなくても、手で洗濯できる	4.2	5.0	*

\*=統計的検定を行い、平均値の向上が認められたもの

※小数点以下の四捨五入により、合計が実際の数値とは異なる場合があります

## 参加者 & 保護者の声



普段は経験できない一週間になった。大学生と一緒に過ごしとても楽しかった。いつもより集中して学習できた。(参加児童)

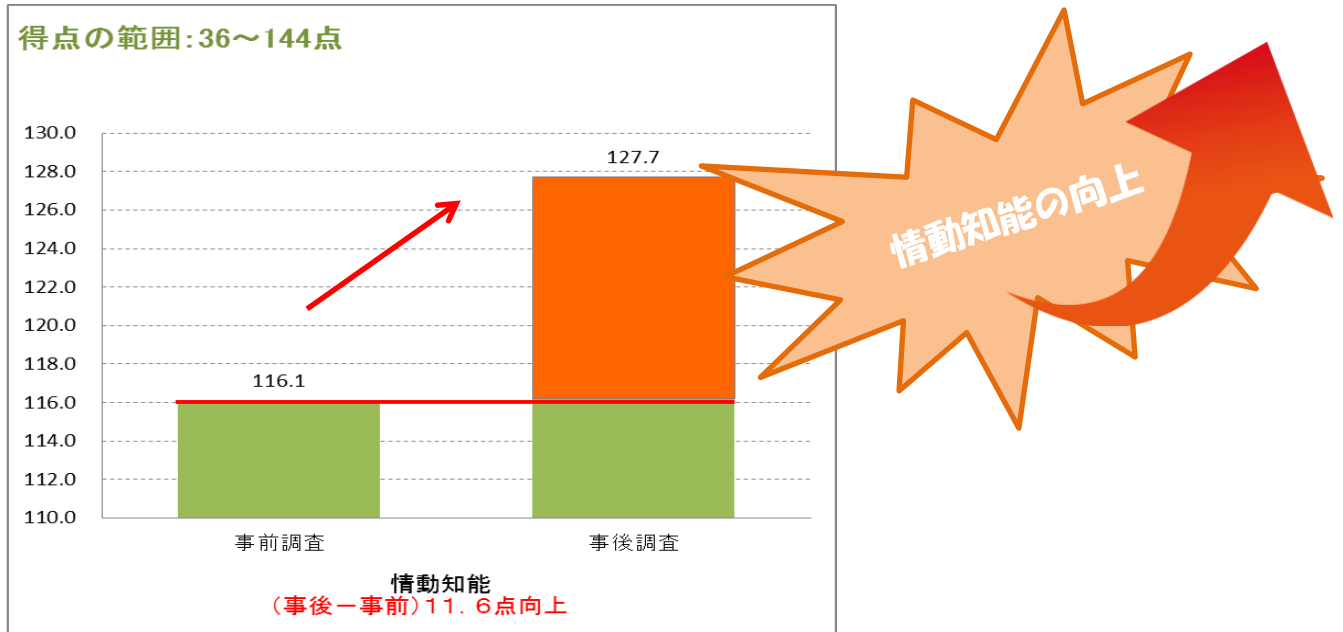
親の心配はよそに本人はすごく楽しかったと喜んで帰って来た。元々内気で家でも口数が少ない子だが、合宿後は話をしてくれることが多くなった。生活面だけでなく精神的に成長したと思う。一週間離れて生活する事をやりとげた自信のようなものをすごく感じる。とても貴重な一週間だったのだなとうれしく思う。(保護者)

## 情動知能の向上

平成25年度参加した児童43名を対象として「EQSC(児童用情動知能尺度)」を用いて、生きる力の測定・分析を行った。合宿初日と最終日にアンケート調査を実施し、分析ツールを使用して分析を行った結果以下の効果が明らかになった。

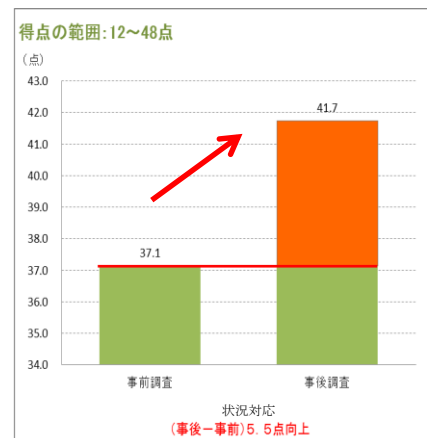
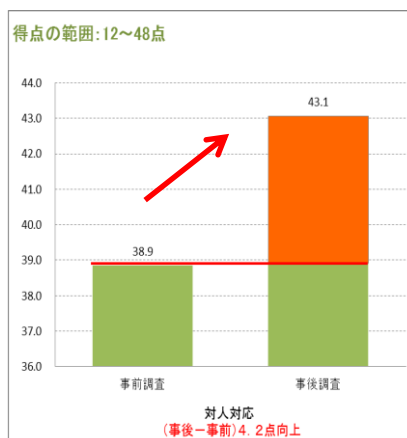
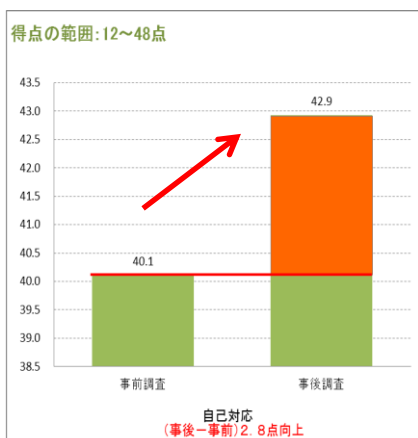
事前から事後にかけて「情動知能」の得点が上がることが分かった。また、「自己対応能力」「対人対応能力」「状況対応能力」の3つの能力及び、それらを構成する能力のすべてに向上が見られた。

### ▶情動知能の変容



各質問項目の回答に対して「とてもよくあてはまる」を4点、「まったくあてはまらない」を1点として1点刻みで得点化し、各調査時期における平均・標準偏差を算出した。

### ▶3つの上位能力の変容





▶各調査期における各項目の変容

能力	No.	調査項目	事前調査	事後調査	有意差
			平均	平均	
情動知能			116.1	127.7	**
自己対応能力			40.1	42.9	**
自己洞察	1	自分が思っていることや感じていることがいつでもわかる	9.6	10.6	*
	2	自分の気持ちが、変化するのわかる			
	3	今の自分の気持ちを言葉で表すことができる			
自己動機づけ	4	自分でやろうと思ってやり始めたことは、続けていきたい	10.4	11.0	*
	5	一度やり始めたことは、最後までやり通したい			
	6	すぐにできなくても、大切なことは、やり続けるようにしている			
目標追求	7	自分でやると決めたことは、やりとげようとしている	10.1	10.8	*
	8	やると決めたことを、すぐにやめてしまうのはよくないことだと思う			
	9	目標のためならば、どんなに大変でも、やりぬく気持ちでいる			
自制心	10	自分の気持ちだけでなく、場面を考えて行動している	9.9	10.5	*
	11	休み時間と授業時間との気持ちの切りかえができる			
	12	いやなことがあっても、友達にやつあたりしない			
対人対応能力			38.9	43.1	**
共感性	13	友達が喜ぶことをしてあげたくなる	10.7	11.5	*
	14	どうすれば友達に喜んでもらえるかを考えたい			
	15	困っている友達がいたら、どうしたのか聞いてあげたいと思う			
愛他心	16	友達が元気がないときには、はげましてあげたいと思う	10.3	11.0	*
	17	友達が嫌がることは言わない			
	18	困っている人を見ると、何とかしてあげたいと思う			
協力	19	だれにでも、進んで手を貸してあげられる	8.8	10.3	*
	20	みんなのためなら、いやなことでもやろうと思う			
	21	同じ友達とだけではなく、いろいろな友達と遊んでいる			
人材活用力	22	友達に手伝いをたのむことができる	9.0	10.3	*
	23	けんかを止めたり、仲直りをさせたりしたことがある			
	24	初めて会った人も、すぐに友達になる			
状況対応能力			37.1	41.7	**
気配り	25	その場のふんいきをこわさないように気をつけている	10.0	10.7	*
	26	みんなで何かを決めるとき、みんなの意見をきちんと聞いて決めている			
	27	朝の会、帰りの会などの司会をテキパキとやることができる			
楽天主義	28	何かを始めるときには、うまくいこうと思う	9.3	10.5	*
	29	失敗することを考えるより、まずやってみようと思う			
	30	今日うまくいかないことも、明日になればうまくいきそうだと思う			
リーダーシップ	31	リーダーとして、みんなをまとめていくことが得意である	8.1	9.7	*
	32	自分が見つけた良い方法を、みんなにすすめることができる			
	33	みんなと相談するときには、まとめ役をすることが多い			
状況コントロール	34	班がえがあっても、すぐに班の人たちと仲良くできる	9.6	10.8	*
	35	何か困ったことが起こっても、どうしたらよいか考えられる			
	36	その場面に合わせて、行動することができる			

\*=統計的検定を行い、平均値の向上が認められたもの

※小数点以下の四捨五入により、合計が実際の数値とは異なる場合があります

## 参加者 & 保護者の声



テレビがないからつまらないと思っていたけど、たくさんの人達とあきることなく過ごして楽しかった。規則正しく生活できたし、グループで協力することもできた。この生活を続けたい。(参加児童)

まわりの事を考えて行動できるようになった。また、相手を思いやる気持ちが行動にも移せるようになったと思う。(保護者)

## 4 第3回「テンちゃん一家の一週間」(滝沢東小学校)

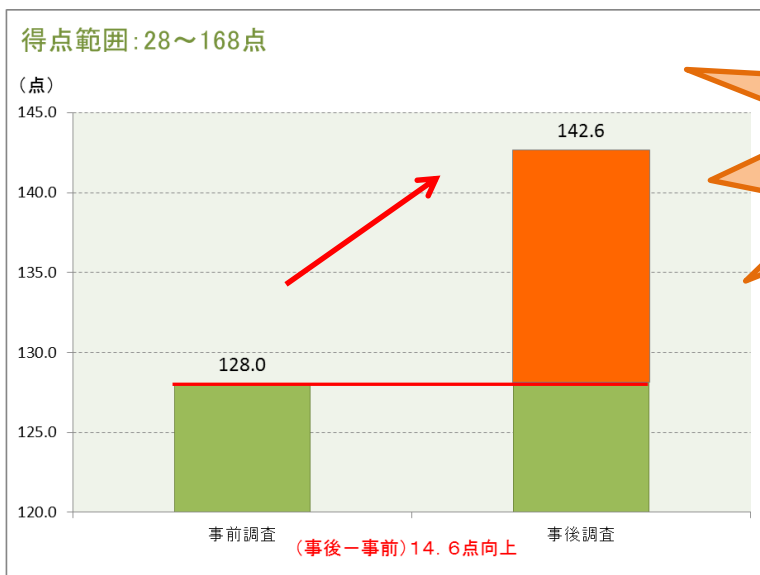
平成25年11月10日(日)～16日(土)

### 生きる力の向上

平成25年度参加した児童16名を対象として「IKR評定用紙(簡易版)」を用いて、生きる力の測定・分析を行った。合宿初日と最終日にアンケート調査を実施し、分析ツールを使用して分析を行った結果以下の効果が明らかになった。

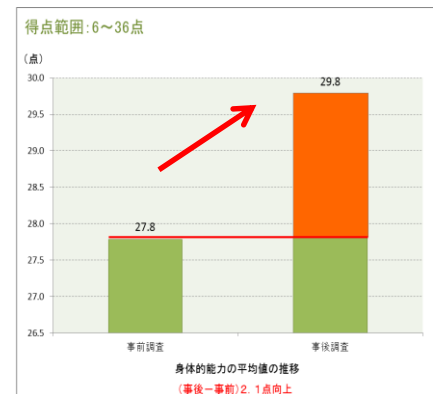
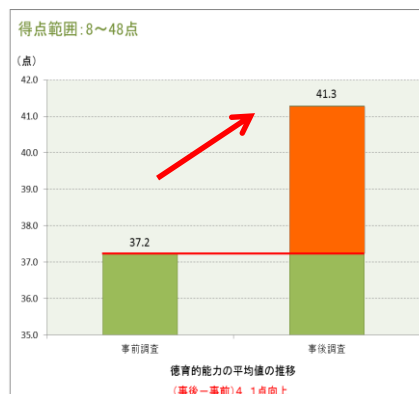
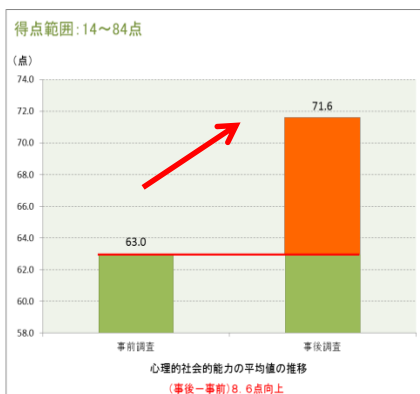
事前から事後にかけて「生きる力」の得点が上がることが分かった。また、「心理社会的能力」「徳育的能力」「身体的能力」の3つの能力及び、それらを構成する能力のすべてに向上が見られた。

#### ▶生きる力の変容



各質問項目の回答に対して「とてもよくあてはまる」を6点、「まったくあてはまらない」を1点として1点刻みで得点化し、各調査時期における平均・標準偏差を算出した。

#### ▶3つの上位能力の変容



▶各調査期における各項目の変容

能力	No.	調査項目	事前調査	事後調査	有意差
			平均	平均	
<b>生きる力</b>			<b>128.0</b>	<b>142.6</b>	<b>*</b>
<b>心理的社会的能力</b>			<b>63.0</b>	<b>71.6</b>	<b>*</b>
非依存	1	いやなことは、いやとはっきり言える	5.1	5.5	*
	15	小さな失敗をおそれない	4.6	5.1	*
積極性	11	自分からすすんで何でもやる	4.4	5.4	*
	25	前向きに、物事を考えられる	4.1	5.1	*
明朗性	5	だれにでも話しかけることができる	4.8	5.4	*
	19	失敗しても、立ち直るのがはやい	4.9	5.4	*
交友・協調	7	多くの人に好かれている	3.2	3.6	*
	21	だれとでも仲よくできる	4.9	5.3	*
現実肯定	9	自分のことが大好きである	3.5	4.2	*
	23	だれにでも、あいさつができる	5.4	5.4	*
視野・判断	3	先を見通して、自分で計画が立てられる	4.1	5.3	*
	17	自分で問題点や課題を見つけることができる	4.1	5.0	*
適応行動	8	人の話をきちんと聞くことができる	4.9	5.6	*
	22	その場にふさわしい行動ができる	4.8	5.3	*
<b>徳育的能力</b>			<b>37.2</b>	<b>41.3</b>	<b>*</b>
自己規制	14	自分かってな、わがまを言わない	4.5	4.9	*
	28	お金やモノのむだ使いをしない	4.7	4.7	*
自然への関心	6	花や風景などの美しいものに、感動できる	4.1	4.9	*
	20	季節の変化を感じるができる	4.9	5.6	*
まじめ・勤勉	12	いやがらずに、よく働く	4.3	5.0	*
	26	自分に割り当てられた仕事は、しっかりとやる	5.5	5.3	*
思いやり	2	人のために何かをしてあげるのが好きだ	4.6	5.4	*
	16	人の心の痛みがわかる	4.6	5.4	*
<b>身体的能力</b>			<b>27.8</b>	<b>29.8</b>	<b>*</b>
日常的行動力	13	早寝早起きである	4.4	5.1	*
	27	からだを動かしても、疲れにくい	4.6	4.9	*
身体的耐性	4	暑さや寒さに、まけない	4.4	5.0	*
	18	とても痛いケガをしても、がまんできる	4.8	4.8	*
野外技能・生活	10	ナイフ・包丁などの刃物を、上手に使える	5.1	5.1	*
	24	洗濯機がなくても、手で洗濯できる	4.5	4.9	*

\*=統計的検定を行い、平均値の向上が認められたもの

※小数点以下の四捨五入により、合計が実際の数値とは異なる場合があります

## 参加者 & 保護者の声



テレビやゲームがなくて不便だったけど、その分色々な人とたくさん話せた。一緒にお風呂に入ったり、いっしょにご飯を食べたりしたのはとてもいい思い出になった。(参加児童)

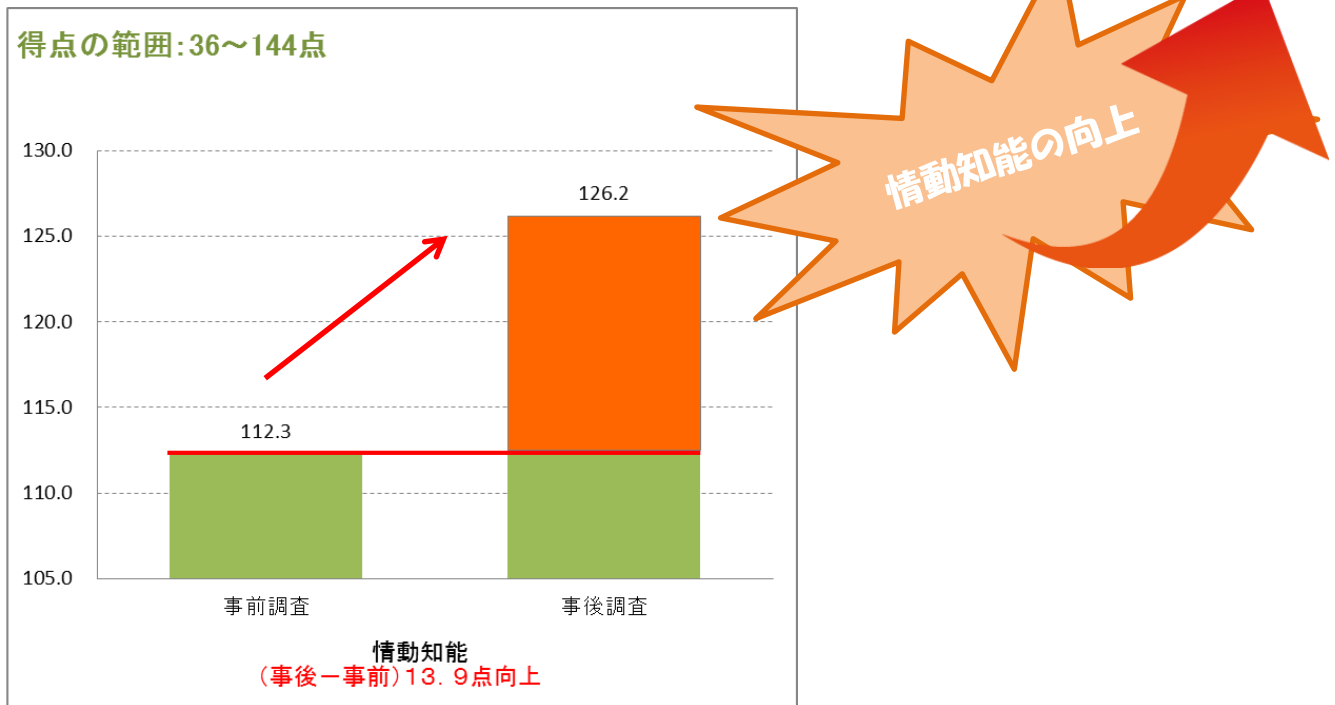
たくさんの人と交流をもてたことがとても楽しかったよう。週末はスポ少の遠征で泊まりに行く事もあるが、“テンパークで一週間過ごせたのだから自分のことは自分でできるだろう”と、親も安心して子どもを送り出せるようになった。(保護者)

## 情動知能の向上

平成25年度参加した児童16名を対象として「EQSC(児童用情動知能尺度)」を用いて、生きる力の測定・分析を行った。合宿初日と最終日にアンケート調査を実施し、分析ツールを使用して分析を行った結果以下の効果が明らかになった。

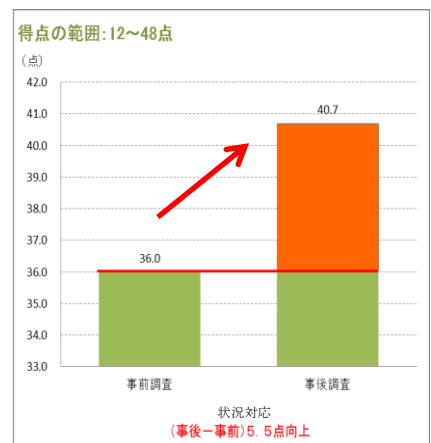
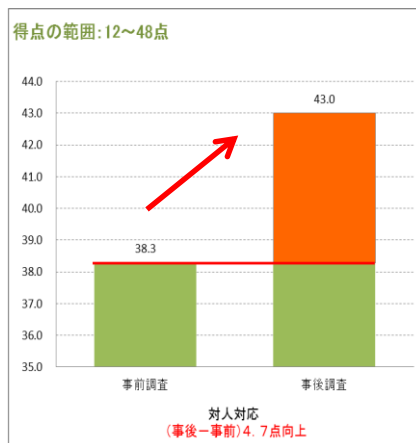
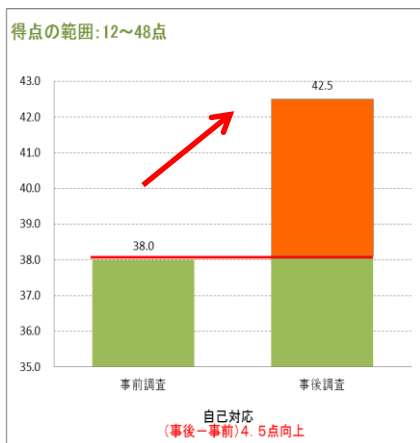
事前から事後にかけて「情動知能」の得点が上がることが分かった。また、「自己対応能力」「対人対応能力」「状況対応能力」の3つの能力及び、それらを構成する能力のすべてに向上が見られた。

### ▶情動知能の変容



各質問項目の回答に対して「とてもよくあてはまる」を4点、「まったくあてはまらない」を1点として1点刻みで得点化し、各調査時期における平均・標準偏差を算出した。

### ▶3つの上位能力の変容



▶各調査期における各項目の変容

能力	No.	調査項目	事前調査	事後調査	有意差	
			平均	平均		
情動知能			112.3	126.2	*	
自己対応能力			38.0	42.5	*	
自己対応能力	自己洞察	1	自分が思っていることや感じていることがいつでもわかる	9.6	10.6	
		2	自分の気持ちが、変化するのわかる			
		3	今の自分の気持ちを言葉で表すことができる			
	自己動機づけ	4	自分でやろうと思ってやり始めたことは、続けていきたい	9.8	11.2	*
		5	一度やり始めたことは、最後までやり通したい			
		6	すぐにできなくても、大切なことは、やり続けるようにしている			
	目標追求	7	自分でやると決めたことは、やりとげるようにしている	9.6	10.6	*
		8	やると決めたことを、すぐにやめてしまうのはよくないことだと思う			
		9	目標のためならば、どんなに大変でも、やりぬく気持ちでいる			
	自制心	10	自分の気持ちだけでなく、場面を考えて行動している	9.0	10.1	*
		11	休み時間と授業時間との気持ちの切りかえができる			
		12	いやなことがあっても、友達にやつあたりしない			
対人対応能力			38.3	43.0	*	
対人対応能力	共感性	13	友達が喜ぶことをしてあげたくなる	10.0	11.0	*
		14	どうすれば友達に喜んでもらえるかを考えたい			
		15	困っている友達がいたら、どうしたのか聞いてあげたいと思う			
	愛他心	16	友達が元気がないときには、はげましてあげたいと思う	10.0	10.9	
		17	友達が嫌がることは言わない			
		18	困っている人を見ると、何とかしてあげたいと思う			
協力	19	だれにでも、進んで手を貸してあげられる	8.4	9.8	*	
	20	みんなのためなら、いやなことでもやろうと思う				
	21	同じ友達とだけではなく、いろいろな友達と遊んでいる				
人材活用力	22	友達に手伝いをたのむことができる	9.9	11.3	*	
	23	けんかを止めたり、仲直りをさせたりしたことがある				
	24	初めて会った人も、すぐに友達になる				
状況対応能力			36.0	40.7	*	
状況対応能力	気配り	25	その場のふんいきをこわさないように気をつけている	9.2	10.6	*
		26	みんなで何かを決めるとき、みんなの意見をきちんと聞いて決めている			
		27	朝の会、帰りの会などの司会をテキパキとやることができる			
楽天主義	28	何かを始めるときには、うまくいこうと思う	9.0	10.2	*	
	29	失敗することを考えるより、まずやってみようと思う				
	30	今日うまくいかないことも、明日になればうまくいきそうだと思う				
リーダーシップ	31	リーダーとして、みんなをまとめていくことが得意である	8.5	9.3		
	32	自分が見つけた良い方法を、みんなにすすめることができる				
	33	みんなと相談するときには、まとめ役をすることが多い				
状況コントロール	34	班がえがあっても、すぐに班の人たちと仲良くできる	9.3	10.6	*	
	35	何か困ったことが起こっても、どうしたらよいか考えられる				
	36	その場面に合わせて、行動することができる				

\*=統計的検定を行い、平均値の向上が認められたもの

※小数点以下の四捨五入により、合計が実際の数値とは異なる場合があります

## 参加者 & 保護者の声



最初はみんなと仲良くなれるか不安だったけど、ずっといっしょに過ごしていっしょに笑ったり、少しけんかもしたけど、それもみんな楽しいと今は思っている。(参加児童)

普段から面倒見はいい方だったが、一週間離れて生活し、帰ってきたらより弟妹を愛しくかわいがるようになった。(保護者)

## 5 第4回「テンちゃん一家の一週間」(滝沢第二小学校・滝沢東小学校)

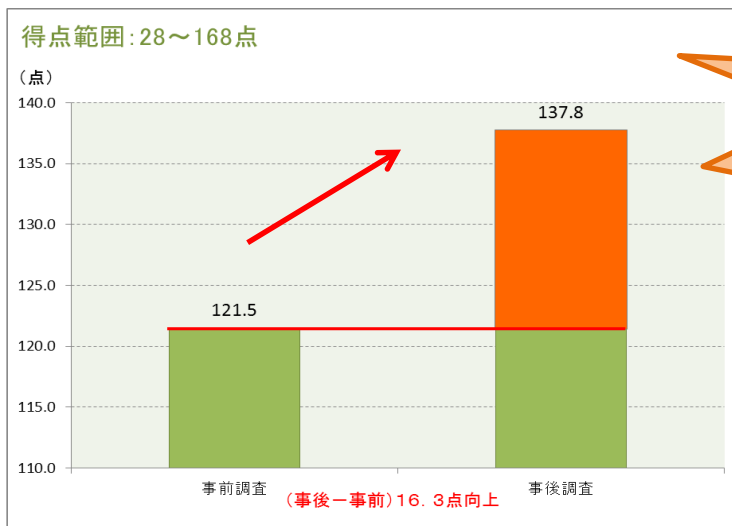
平成26年11月9日(日)～15日(土)

### 生きる力の向上

平成26年度参加した児童41名を対象として「IKR評定用紙(簡易版)」を用いて、生きる力の測定・分析を行った。合宿初日と最終日にアンケート調査を実施し、分析ツールを使用して分析を行った結果以下の効果が明らかになった。

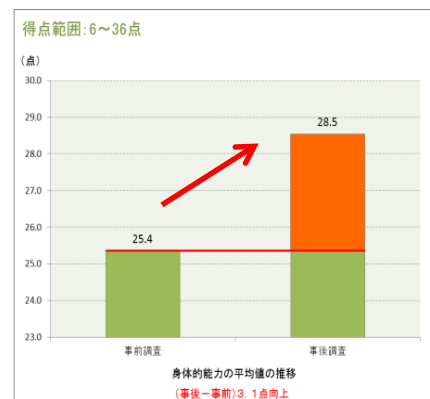
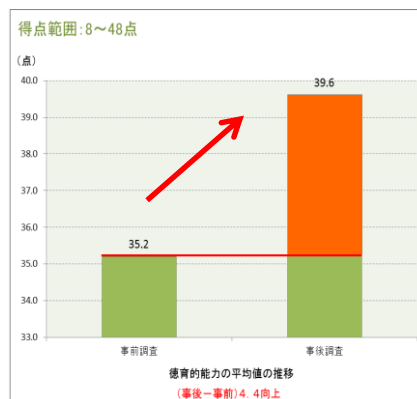
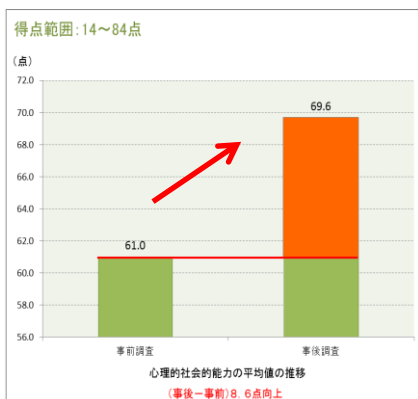
事前から事後にかけて「生きる力」の得点が上がることが分かった。また、「心理的社会的能力」「徳育的能力」「身体的能力」の3つの能力及び、それらを構成する能力のすべてに向上が見られた。

#### ▶生きる力の変容



各質問項目の回答に対して「とてもよくあてはまる」を6点、「まったくあてはまらない」を1点として1点刻みで得点化し、各調査時期における平均・標準偏差を算出した。

#### ▶3つの上位能力の変容





▶各調査期における各項目の変容

能力	No.	調査項目	事前調査	事後調査	有意差
			平均	平均	
<b>生きる力</b>			<b>121.5</b>	<b>137.8</b>	<b>*</b>
<b>心理的社会的能力</b>			<b>61.0</b>	<b>69.6</b>	<b>*</b>
非依存	1	いやなことは、いやとはっきり言える	4.7	5.3	*
	15	小さな失敗をおそれない	4.7	5.0	*
積極性	11	自分からすすんで何でもやる	4.1	4.9	*
	25	前向きに、物事を考えられる	4.2	5.2	*
明朗性	5	だれにでも話しかけることができる	4.4	5.1	*
	19	失敗しても、立ち直るのがはやい	4.4	5.1	*
交友・協調	7	多くの人に好かれている	4.1	4.4	*
	21	だれとでも仲よくできる	4.6	5.1	*
現実肯定	9	自分のことが大好きである	3.8	4.1	*
	23	だれにでも、あいさつができる	4.8	5.4	*
視野・判断	3	先を見通して、自分で計画が立てられる	4.0	4.8	*
	17	自分で問題点や課題を見つけることができる	4.4	5.2	*
適応行動	8	人の話をきちんと聞くことができる	4.7	4.9	*
	22	その場にふさわしい行動ができる	4.4	5.2	*
<b>徳育的能力</b>			<b>35.2</b>	<b>39.6</b>	<b>*</b>
自己規制	14	自分かってな、わがママを言わない	4.1	4.7	*
	28	お金やモノのむだ使いをしない	4.0	5.0	*
自然への関心	6	花や風景などの美しいものに、感動できる	3.8	4.5	*
	20	季節の変化を感じることができる	4.9	5.4	*
まじめ・勤勉	12	いやがらずに、よく働く	4.3	4.6	*
	26	自分に割り当てられた仕事は、しっかりとやる	4.8	5.2	*
思いやり	2	人のために何かをしてあげるのが好きだ	4.7	5.2	*
	16	人の心の痛みがわかる	4.6	5.1	*
<b>身体的能力</b>			<b>25.4</b>	<b>28.5</b>	<b>*</b>
日常的行動力	13	早寝早起きである	3.8	4.6	*
	27	からだを動かしても、疲れにくい	4.5	5.0	*
身体的耐性	4	暑さや寒さに、まけない	4.5	4.9	*
	18	とても痛いケガをしても、がまんできる	4.6	4.9	*
野外技能・生活	10	ナイフ・包丁などの刃物を、上手に使える	4.5	4.8	*
	24	洗濯機がなくても、手で洗濯できる	3.6	4.3	*

\*=統計的検定を行い、平均値の向上が認められたもの

※小数点以下の四捨五入により、合計が実際の数値とは異なる場合があります

## 参加者 & 保護者の声



初めて参加してみて、とても楽しかったし、友達もたくさんふえたのでよかった。星座観察はとても勉強になった。色々な人に自分からあいさつすることができた。(参加児童)

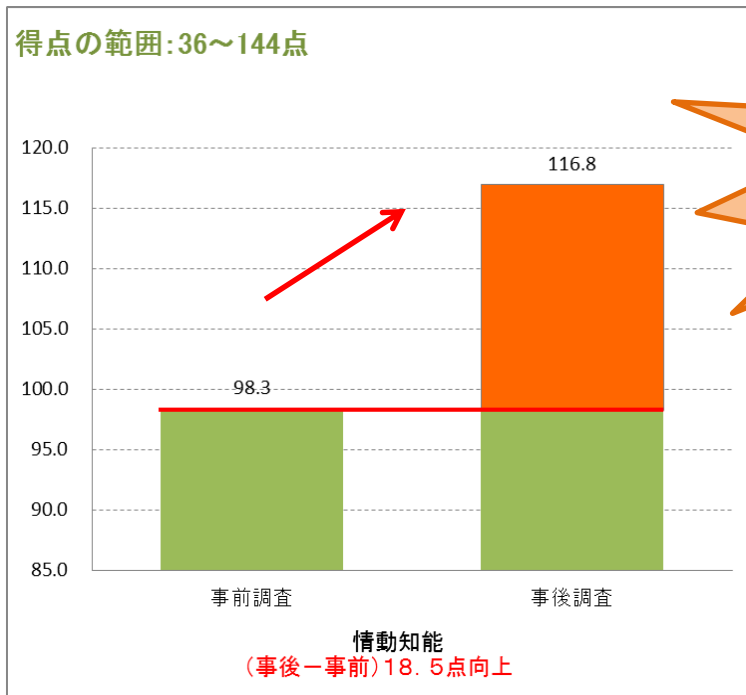
雪が降り始めてから言われなくても雪かきをしたり、気が付いて自分でできることはしてくれるようになったと思う。一週間親元を離れて過ごし、精神的に少し成長して戻ってきてくれたように思う。(保護者)

## 情動知能の向上

平成26年度参加した児童41名を対象として「EQSC(児童用情動知能尺度)」を用いて、生きる力の測定・分析を行った。合宿初日と最終日にアンケート調査を実施し、分析ツールを使用して分析を行った結果以下の効果が明らかになった。

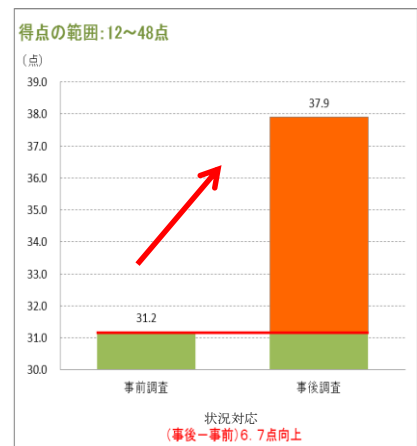
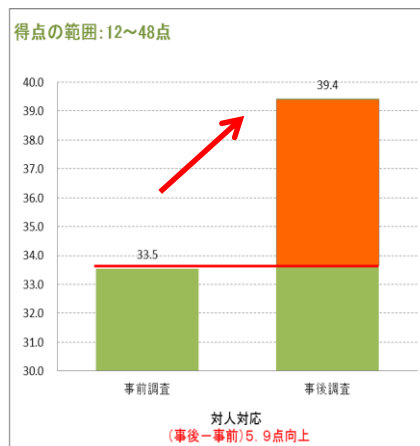
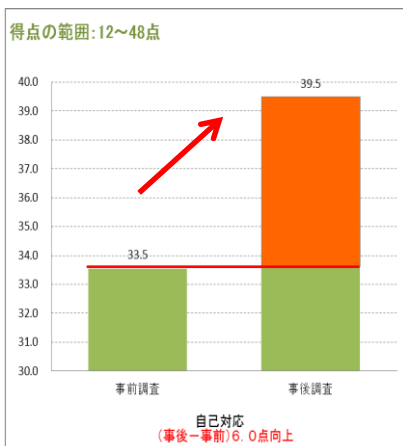
事前から事後にかけて「情動知能」の得点が上がることが分かった。また、「自己対応能力」「対人対応能力」「状況対応能力」の3つの能力及び、それらを構成する能力のすべてに向上が見られた。

### ▶情動知能の変容



各質問項目の回答に対して「とてもよくあてはまる」を4点、「まったくあてはまらない」を1点として1点刻みで得点化し、各調査時期における平均・標準偏差を算出した。

### ▶3つの上位能力の変容



▶各調査期における各項目の変容

能力	No.	調査項目	事前調査	事後調査	有意差
			平均	平均	
情動知能			98.3	116.8	*
自己対応能力			33.5	39.4	*
自己洞察	1	自分が思っていることや感じていることがいつでもわかる	7.8	10.4	*
	2	自分の気持ちが、変化するのわかる			
	3	今の自分の気持ちを言葉で表すことができる			
自己動機づけ	4	自分でやろうと思ってやり始めたことは、続けていきたい	9.0	10.0	*
	5	一度やり始めたことは、最後までやり通したい			
	6	すぐにできなくても、大切なことは、やり続けるようにしている			
目標追求	7	自分でやると決めたことは、やりとげようとしている	8.3	9.7	*
	8	やると決めたことを、すぐにやめてしまうのはよくないことだと思う			
	9	目標のためならば、どんなに大変でも、やりぬく気持ちでいる			
自制心	10	自分の気持ちだけでなく、場面を考えて行動している	8.4	9.4	*
	11	休み時間と授業時間との気持ちの切りかえができる			
	12	いやなことがあっても、友達にやつあたりしない			
対人対応能力			33.5	39.5	*
共感性	13	友達が喜ぶことをしてあげたくなる	9.1	9.9	*
	14	どうすれば友達に喜んでもらえるかを考えたい			
	15	困っている友達がいたら、どうしたのか聞いてあげたいと思う			
愛他心	16	友達が元気がないときには、はげましてあげたいと思う	8.9	10.3	*
	17	友達が嫌がることは言わない			
	18	困っている人を見ると、何とかしてあげたいと思う			
協力	19	だれにでも、進んで手を貸してあげられる	7.3	9.4	*
	20	みんなのためなら、いやなことでもやろうと思う			
	21	同じ友達とだけではなく、いろいろな友達と遊んでいる			
人材活用力	22	友達に手伝いをたのむことができる	8.1	9.9	*
	23	けんかを止めたり、仲直りをさせたりしたことがある			
	24	初めて会った人も、すぐに友達になる			
状況対応能力			31.2	37.9	*
気配り	25	その場のふんいきをこわさないように気をつけている	8.1	9.8	*
	26	みんなで何かを決めるとき、みんなの意見をきちんと聞いて決めている			
	27	朝の会、帰りの会などの司会をテキパキとやることができる			
楽天主義	28	何かを始めるときには、うまくいこうと思う	8.1	9.7	*
	29	失敗することを考えるより、まずやってみようと思う			
	30	今日うまくいかないことも、明日になればうまくいきそうだと思う			
リーダーシップ	31	リーダーとして、みんなをまとめていくことが得意である	6.6	8.7	*
	32	自分が見つけた良い方法を、みんなにすすめることができる			
	33	みんなと相談するときには、まとめ役をすることが多い			
状況コントロール	34	班がえがあっても、すぐに班の人たちと仲良くできる	8.3	9.7	*
	35	何か困ったことが起こっても、どうしたらよいのか考えられる			
	36	その場面に合わせて、行動することができる			

\*=統計的検定を行い、平均値の向上が認められたもの

※小数点以下の四捨五入により、合計が実際の数値とは異なる場合があります

## 参加者 & 保護者の声



違う学校の人と友達になれて友達がふえてうれしかった。前から友達だった人とももっと仲良くなれてうれしい。実験や観察、班の人と協力してゲームなどをして楽しかった。(参加児童)

テンちゃん一家の一週間が終わってからは、進んでお手伝いをしたり、弟や妹の面倒を見てくれていろいろと教えたりする姿が見られた。お兄さんになって帰ってきた。家族愛も増したように感じ、参加させてよかったと思う。(保護者)